

川岡学区



データファイル

- 人口 11,007人
 - 世帯数 4,854世帯
 - 面積 1.226km²
- *平成17年国勢調査(10月1日現在)



より良いまちづくりを地域ぐるみで進めます

川岡学区は、昭和45年に榎原学区が、西京区分区後の昭和57年には川岡東学区がそれぞれ独立し、現在の姿となっています。区交通の要衝と言える阪急桂駅を擁し、新興住宅が広がる一方で、良き伝統も息づいています。

三宮神社では、毎年1月16日に「おとう祭」が行われます。この日地域の皆さんは、鳥居に置いた的を討て、土地の平穏と豊作を祈願されます。

皆さんは、郷土が生んだ人、「孝子儀兵衛翁」をご存知ですか？儀兵衛翁は、1724（享保9）年に生まれて間もなく、今の栗田町の農家の養子となりました。親を大切に、兄弟仲良くすることをいつも心がけて一生を送った人と言われ、戦前の小学校修身教科書には親孝行の模範教材として掲載されていました。儀兵衛翁の墓がある冷聲院では、地域の方々の支えのもとに、毎年、命日の10月5日に、儀兵衛翁をしのぶ「孝子祭」が行われます。この日には墓前祭と慰霊祭のほか、遺品展として、儀兵衛翁の行いを描いた絵巻物などが公開され、その孝行ぶりを見ることができます。郷土の誇りである儀兵衛翁

の逸話を今の子供達ももっと知り、親や周りの人を大切にする心がけと実践につながっていけばと思っています。

川岡学区有栖川町は西が高く東が低い土地柄、これまでは大雨が降るたびに水があふれ、阪急桂駅前付近ではビルの地下飲食街に雨水が流れ込み、復帰するまでに何ヶ月も掛かった事もありました。この度平成16年度から雨水管（内径2m）の敷設工事が行われ、これで50年に一度あるかないかの大雨もひとまず安心とあんどしております。

また、子どもの安全を守るための取組みが評価され、平成17年7月1日、川岡小学校が安全功労者内閣総理大臣表彰を受けました。このことについては、平成14年度に“地域ぐるみの学校安全推進モデル事業”推進地域の指定を受け、学校を中心として自治連合会やPTAなど関係団体や関係機関、地域社会全体で子どもたちの安全についての取組みを進めてきたことによるものです。今後とも地域の安全の取組みをより一層強めて参ります。



三宮神社の大太鼓の張り替え除幕式（平成17年1月16日）



三宮神社



弓を的に当てればその年は豊作といわれている



三宮神社の「お弓祭」



孝子儀兵衛翁の墓



安全功労者内閣総理大臣表彰の様子



安全功労者内閣総理大臣表彰状